

令和3年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

| 実施日 | 質問順 | 議員名 | 質問形式 | ページ |
|-----------|-----|-------|------|-----|
| 6/15(火)午前 | 1 | 竹村 眞弓 | 一括 | 3 |
| | 2 | 竹野 昇 | 一括 | 5 |
| 6/15(火)午後 | 3 | 大庭 通嘉 | 一問一答 | 7 |
| | 4 | 近藤 正美 | 一括 | 9 |
| | 5 | 安間 亨 | 一括 | 10 |
| 6/16(水)午前 | 6 | 寺田 守 | 一括 | 12 |
| | 7 | 鈴木 賢和 | 一括 | 14 |
| | 8 | 村松 和幸 | 一括 | 15 |
| 6/16(水)午後 | 9 | 山田 貴子 | 一問一答 | 16 |
| | 10 | 鈴木 弘睦 | 一括 | 18 |
| | 11 | 村井 勝彦 | 一問一答 | 19 |
| 6/17(木)午前 | 12 | 立石 泰広 | 一括 | 21 |
| | 13 | 木下 正 | 一問一答 | 23 |
| | 14 | 太田 裕介 | 一括 | 25 |

| 質問順序 | 1 | 議席番号 | 12 | 質問者 | 竹村 眞弓 |
|-------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 迅速な新型コロナウイルスワクチン接種に係る取り組み 新型コロナウイルス感染は、静岡県、そして袋井市においても拡大し市民の命と暮らしを脅かしている。袋井市でも高齢者へのワクチン接種が開始されているが、ワクチンの未接種者を減らし、高齢者全員へスムーズなワクチン接種への取り組みで安全・安心な袋井市を目指すことが必要だと考える。 | | | | 市長 |
| | (1) 高齢者のワクチン接種は、国から7月末までの完了の方針が出ているが、現時点での予約完了状況と接種状況、未予約者数とその方々へ対策について伺いたい。 (2) ホームページやSNS等での情報発信が行われているが、IT環境下でない高齢者への情報発信対策や市民への情報遅延に関してどのように考えているか。 (3) 65歳以上の集団接種に係る現在の人員状況と、今後の64歳以下へのワクチン接種の見通しについて伺いたい。 (4) 交通手段のない高齢者等に対してタクシー運賃の助成が行われることになったが、高齢者以外の障がい者や交通弱者等の方々への支援についてはどのように考えているのか。 (5) 当日キャンセルが出た場合のワクチンの活用方法、取り組みについて伺いたい。 | | | | |
| 2 | 大場規之市長の政治姿勢について 中部電力浜岡原発が全面停止して10年の経過に合わせ、中日新聞社は県内自治体の首長を対象にアンケートを実施している。その新聞報道内容では、大場市長は明確な反対の態度を示していない。本市は非核平和都市宣言を掲げ、平成27年より広島平和記念式典への中学生派遣事業を行っている。市民の安全・安心の担保、核兵器禁止と恒久平和の実現に向けた取り組みが必要と考える。 | | | | 市長 |
| | (1) 浜岡原発に対する基本的認識について ア 再稼働の是非について大場市長は「市民の安全・安心が担保されることが最優先」と回答されているが、その理由について伺いたい。 | | | | |

| 質問順序 | 1 | 議席番号 | 12 | 質問者 | 竹村 眞弓 | |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 《一括》 | 答弁者 |
| 2 | <p>イ 原田前市長は、浜岡原発再稼働反対の立場を明確にしていたが、大場市長は明確な態度を示していない。その相違、真意について伺いたい。</p> <p>ウ 震源域の真上にある浜岡原発は世界一危険と言われ、再稼働は絶対にあってはいけないと考えるが、大場市長の見解はどうか。</p> <p>(2) 非核平和都市宣言への認識と平和教育への取り組みについて</p> <p>ア 核廃絶・平和推進は市の責務と考えるが、大場市長の見解を伺いたい。</p> <p>イ 広島平和記念式典への中学生派遣事業は、市へも大きな効用をもたらしている。大場市長はこの取り組みをどのように評価しているか伺いたい。</p> <p>ウ 原田前市長は、核兵器禁止条約を批准して核兵器禁止と恒久平和の実現に向け取り組むべきとの見解であったが、大場市長も原田前市長と同様の考えか伺いたい。</p> | | | | 市長 | |

| 質問順序 | 2 | 議席番号 | 11 | 質問者 | 竹野 昇 |
|-------------------|---|------|----|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | <p>小、中学校学用品の再利用について</p> <p>ランドセルや音楽の授業で使うリコーダー、鍵盤ハーモニカ、制服・体操着など、まだ使えるものを新しく入学する児童・生徒や転校生などに使ってもら（譲る）ことにより、保護者の教育費負担軽減や、物を大切に使う心が定着する教育効果、子育て支援に熱心な袋井市のアピール、子育て世代の袋井市への移住・定着効果の期待、ごみの減量化にもつながる。すでに部分的にやっている学校や保護者間で譲り合いをしている話も聞いている。</p> <p>(1) 教育委員会として、組織的に学用品の再利用に向けて取り組んでほしいが、見解を問う。</p> | | | | 教育長 |
| 2 | <p>障がい者雇用促進のため袋井市として障がい者特性理解研修会や就職相談会を袋井商工会議所と連携して取り組めないものか</p> <p>袋井特別支援学校令和2年度の高等部卒業生38人中、民間企業に就職できた生徒は11名。多くは就労継続支援B型福祉施設である。民間企業の法定雇用率2.2%を達成するためだけでなく、障がいを持っている方が自立できるだけの賃金をもらえる事業所で働ける環境を整え、障がい者の社会参加、人間としての尊厳の確立のために市当局として、事業者の協力を得るのは大切だと考える。</p> <p>(1) 福祉施設の担当者や支援学校の先生などを講師に、市内の事業者向けの障がい者特性理解のための研修会を、袋井商工会議所の協力を得て開催できないものか。</p> <p>(2) 研修会に続いて今年後半に、障がい者就職相談会（事業者と求職者のマッチング）を、袋井商工会議所と連携して開催できないものか。</p> | | | | 市長 |
| 3 | <p>田端東遊水池整備事業は、治水対策事業か。駅南都市拠点土地区画整理事業の一環か。公共事業の目的・費用対効果・住民の不信を招かない行政の在り方を問う</p> <p>1億9,000万円の予算がついて昨年度から進められている田端東遊水池深堀及び護岸工事は、当初小川町住宅地冠水被害を防ぐための治水対策として位置付けられ、市債を含む市税から予算を組み、住民も歓迎した事業である。しかし治水対策の効果はわずかで、浸水被害を30センチメートル弱軽減するだけと分かり、住民に行政への不信が高まっている。工事現場の看板に、「駅南地区治水対策事業」の表記はなく、「修景施設の整備と親水機能の向上、歩いて楽しいまちづくり事業、田端東遊水池公園・田端広場整備事業」の表記となっている。</p> <p>(1) 令和2年2月市議会定例会で予算が承認され、田端東遊水池公園整備事業の目的は何だったのか。1.3メートル深堀により1万トン貯留機能向上が、小川町住宅地浸水被害防止にどれぐらい効果があるのかを、当局は最初から分かっていたのか。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 2 | 議席番号 | 11 | 質問者 | 竹野 昇 |
|-------------------|--|------|----|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 3 | <p>（2） 住民が不信を抱く原因は、高低差で低い小川町の北側を流れる秋田川の水が果たして深堀した田端東遊水池に入るのか、という点である。新幹線下の用水路に段差があり、当初市の担当者がJRと協議して段差解消すると住民側に説明したが、今では異なっている。この食い違いについて、納得できる説明を求める。</p> <p>（3） 30センチメートル弱の浸水被害防止が治水対策事業と言えるのか。確実に秋田川の水を貯留できるか不安がある公共事業の費用対効果を、当局はどう考えているのか。</p> <p>（4） 新幹線下用水路段差解消工事をしない決定が、住民の不信につながることを、当局はどう考えているのか。今後、住民の安心・安全・当局への信頼回復のため具体的にどのような治水対策を考えているのか。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 3 | 議席番号 | 20 | 質問者 | 大庭 通嘉 |
|---------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 新市長の政治姿勢 | <p>先の選挙では袋井 J C 主催の公開討論会や新聞アンケートに今後の市政運営に対する考え方が披瀝された。また、今定例会には所信表明において重点的に取り組む施策の大要も示された。</p> <p>(1) 企業誘致の具体的な進め方は。</p> <p>ア どのような企業を市内どのような地域に誘致していくか。</p> <p>イ 青地農地を白地にとの発言は市内のどの地域を想定しているのか。</p> <p>(2) 製造品出荷額等の目標値をどのように設定していくか。</p> <p>(3) 袋井市の教育施策で課題として認識する事業とその改善策は。</p> <p>ア 教育デジタル化、いじめ、不登校、子供の貧困、障害児支援等。</p> <p>イ 図書館、児童館新設、保育士への奨学金制度の進め方は。</p> <p>(4) 政策研究費1,000万円の使途をどのように考えているか。</p> <p>(5) 先送りされたゴミ袋・水道・下水道料金の値上げについての考え方は。</p> | | | | 市長 |
| 2 道路の騒音・振動対策 | <p>道路の騒音・振動対策を望む声が市民から多く寄せられている。着実な舗装維持修繕計画に基づいた改善策が求められている。</p> <p>(1) 道路の振動・騒音のクレーム件数と事故件数の現状把握はどうか。</p> <p>(2) 維持管理指数（MC I）3及び2以下の市内道路の距離数と対策は。</p> <p>(3) 路面性状調査（日常点検・交通量調査）の実態は、どうなっているか。</p> <p>(4) 年間舗装維持修繕費用の必要見積額と実際の充当額はどうか。</p> <p>(5) 維持管理指数（MC I 3～5）以上でも発生する道路の路盤改善策は。</p> <p>(6) レコーダー付きの騒音計・振動計の配備を。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 3 | 議席番号 | 20 | 質問者 | 大庭 通嘉 |
|-------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 3 | 自治会における課題 少子高齢化により、これまで担ってきた河川愛護や美化運動など自治会によっては事業実施が困難な状況になってきている。 (1) 自治会加入率の現状と、市が認識する自治会における問題点とは何か。 (2) 高齢者等に対する免除を市としてどのように考えるか。 (3) 自治会がアウトソーシングする事業実態とその経費は。 (4) 自治会による河川愛護の負担軽減について。 ア 今後5年間の市の支援計画の進め方は。 イ 市直営による自治会の大幅な草刈り軽減策は。 | | | | 市長 |

| 質問順序 | 4 | 議席番号 | 14 | 質問者 | 近藤 正美 |
|-------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 市長が語る袋井新時代の都市構想について 「スマイルシティふくろい」をキャッチフレーズに新市長が誕生した。若さと実行力に市民の期待が大きい。コロナ禍にあって市が抱える課題も多く、迅速丁寧で効果的な施策が要求される。第2次袋井市総合計画後期基本計画の下、財政の厳しい状況下においても確かな市政運営が図られるよう、新都市構想での行政経営方針の位置付けを共有する必要がある。 (1) 本市の「稼ぐチカラ」の向上をどのように図るか。 (2) 本市の子どもたちに必要な「教育の在り方」とはどのようなものか。 (3) 高齢者に向けた政策について具体的にどのように考えているか。 | | | | 市長 |
| 2 | デジタル社会への課題と対応について 国は昨年末、デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針を閣議決定し、本年5月にはデジタル改革関連法案が成立した。デジタル庁を令和3年9月に設置することなどを柱に位置付け、コロナ禍でも強力で推進する方針である。本市でも高齢者等デジタルに不慣れな人や個人情報の扱いに不安を持つ人への対応などの課題が指摘される。 (1) 本市の個人情報の保護に対する方針・対策はどうか。 (2) 高齢者等への具体的な対応はどうか。 (3) 今後ますます懸念されるデジタル格差についてどう対処するか。 | | | | 市長 |
| 3 | 70歳現役の高齢者雇用について 70歳までの就業機会の確保を企業に促す改正高年齢者雇用安定法が令和3年4月に施行された。労働力人口の減少が進む中、元気な高齢者が多様に働けるようにするのが狙いだが、法的拘束力のない努力義務であり、企業の対応はこれからである。本市として企業との関わりや連携はどうあるべきか。 (1) 市内の65歳以上の就業者の実態はどうか。 (2) 自社雇用以外で、市が情報発信や就労あっせんにどの程度関わっているか。 (3) 今後、シルバー人材センターとの連携をどう進めるか。 | | | | 市長 |

| 質問順序 | 5 | 議席番号 | 4 | 質問者 | 安間 亨 |
|------------------------|--|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | 答弁者 |
| 1 | <p>LGBTQ+/SOGIに対する取り組み</p> <p>昨今、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)社会の実現が最重要課題の一つとなっているのではないだろうか。その中でも「見えないマイノリティ」とされ、自治体や企業としても対応が急務となっているLGBTQ+/SOGIに対して、本市の考え、取り組みを問う。</p> <p>(1) LGBTQ+/SOGIは可視化されにくく、窓口や電話での相談も少ないという現状がある。具体的な人数や実態を把握できているのか。また、相談対応、職員研修、市民への啓発活動は適切に行われているか。</p> <p>(2) 公共施設のトイレなどのハード面はLGBTQ+/SOGIに配慮し、ありとあらゆる人が利用しやすいよう、既存の多機能トイレの表示板のデザインの再検討・変更を提案するが、いかがか。</p> <p>(3) 働きやすい職場環境の整備も問題として挙げられる。周知・啓発活動を含め、市内事業者に対してどのような働きかけを行っていくのか。</p> <p>(4) 本市が主催するスポーツ大会などの各種イベントにおいて、心とからだの性が一致しない競技者・参加者が参加しやすい仕組みとなっているか。</p> <p>(5) 全国の自治体で「パートナーシップ制度」の導入が進んでいる。「パートナーシップ制度」について、本市の見解は。また、導入に際して、障害となっている要因は何か。</p> <p>.....</p> <p>(6) 学校教育の現場において、望まない性別に振り分けられることで自尊心が傷つく児童生徒がいる。性同一性障害や性的指向・性自認（性同一性）に悩みを抱える児童生徒や「性の多様性」の指導について、どのような取り組みがなされているのか。</p> <p>(7) 通園通学時、男女問わず着用できる「ジェンダーレス制服」の全市導入について、どのような見解を持っているか。</p> | | | | 市長 |
| 2 | <p>父親の育児支援に関して</p> <p>近年、男女共同参画の推進や共働き家庭が増加し、父親の積極的な育児参加がより一層求められているのではなかろうか。今国会で成立した改正育児・介護休業法において、「男性版産休」制度も新設された。父親に対する子育ての在り方や支援について、本市に問う。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 5 | 議席番号 | 4 | 質問者 | 安間 亨 | |
|-------------------|--|------|---|-----|------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 《一括》 | 答弁者 |
| 2 | <p>(1) 父親の育児支援の必要性とその取り組みについて、本市の見解は。</p> <p>(2) 父親を対象にした講座やワークショップ、父子参加型のイベント、父親版子育てガイドやメールマガジン、父親コミュニティの活性化など、父親が子育ての主体として参加できるよう育児支援策の拡充を提案するが、いかがか。</p> <p>(3) 「働き方改革」を企業と共に進めていくことが重要であるが、中小企業での実施は厳しいという声がある。 また、育児休業や短時間勤務制度を利用しようとする男性に対して、「パタニティハラスメント」（パタハラ）の問題も存在する。これらの問題解決に向けた本市の具体的な取り組みや今後の方向性は。</p> <p>(4) 父親の子育て支援を主体とした民間団体、父親支援に積極的な取り組みを行う企業等の表彰や助成制度の検討・導入が必要ではないか。</p> | | | | 市長 | |

| 質問順序 | 6 | 議席番号 | 17 | 質問者 | 寺田 守 | |
|-------------------|--|------|----|-----|------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 《一括》 | 答弁者 |
| 1 | <p>市長は今回の選挙を通じて、まちづくりにかけるご自身の思い、またいくつかの構想を市民に向かって発信されました。新しく市政の舵取りをされるにあたり、これをどのように実現していこうとされるのか、お伺います。</p> <p>1 地域産業の活性化</p> <p>「地域産業をさらに活性化」させるとして、いくつかの提案をされておられます。産業の活性化は「稼ぐ力」につながるものであり、その考えについて伺います。</p> <p>(1) 官民一体となった優良企業の誘致を掲げていますが、市内誘致先の基盤整備についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(2) 袋井市発注業務の市内業者比率のアップを掲げられていますが、具体的な方策はお考えでしょうか。</p> <p>(3) 「袋井の特産を活かしたグルメシティ構想」を掲げておられますが、その構想は具現化していくお考えでしょうか。</p> | | | | 市長 | |
| 2 | <p>2 高齢者や女性活躍社会への対応</p> <p>市長は「子どもやお年寄りが輝くまち」「女性が活躍する袋井市」を掲げ、いくつかの提案をされています。その中からいくつか質問させていただきます。</p> <p>(1) 未来ある子どもたちのための図書館・児童館の新設を掲げていますが、その構想はどのようなものでしょうか。</p> <p>(2) 女性が活躍できる環境の整備として、「子育て環境（預かり保育等）の充実」を掲げておられますが、一時預かり事業の拡充についてどのような見通しをお持ちでしょうか。</p> <p>(3) 高齢者のためにデマンドタクシーの充実を掲げておられますが、地域公共交通の見直しが進められる中、どのような取り組みをお考えでしょうか。</p> | | | | 市長 | |
| 3 | <p>3 市民の声の反映</p> <p>市長は、市民との対話の中で市民のさまざまな声を聞いておられます。その中から、市長のお考えをお聞きします。</p> <p>(1) 「自由に使えるフリースペースが欲しい」という市民の声を聞いておられますが、どのような施設構想を考えましょうか。</p> | | | | 市長 | |

| | | | | | | |
|-------------------|--|------|----|-----|------|-----|
| 質問順序 | 6 | 議席番号 | 17 | 質問者 | 寺田 守 | |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 《一括》 | 答弁者 |
| 3 | (2) まちづくり懇談会として自治会長との意見交換を進めるお考えのようですが、どのような方法をお考えでしょうか。 | | | | 市長 | |

| 質問順序 | 7 | 議席番号 | 2 | 質問者 | 鈴木 賢和 | |
|-------------------|--|------|---|-----|-------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | | 答弁者 |
| 1 | いじめ問題への取り組みについて (1) 2019年と2020年を比較した時、いじめの認知件数が増えている。その実態を受け、課題解決のためにどのように取り組んでいるのか伺う。 (2) いじめ事案に迅速に対応していくため、問題が長期化、複雑化することを防ぎ、解決を図るために市長直属の部署を設けている自治体がある。このような組織の設置について本市の考えを伺う。 | | | | | 教育長 |
| 2 | コロナワクチン接種の取り組みについて (1) 高齢者の接種期間において、キャンセル等によりワクチンに余りが出た場合、大切なワクチンの無駄を防ぐため、キャンセル発生時に即時案内可能な人を確保するためのワクチン接種協力者登録制度を設けている自治体がある。このような制度導入について本市の考えを伺う。 (2) 新型コロナワクチンの職域接種について本市の状況を伺う。 | | | | | 市長 |
| 3 | 放課後児童クラブの待機児童の解消に向けた取り組みについて 放課後児童クラブで待機児童が出ている理由は、人や場所の確保が困難なことや、新たな施設を建てるのに費用がかかるなどがある。それにより現在40名以上の待機児童が出ていると聞く。本市の課題解決に向けた取り組みを伺う。 | | | | | 教育長 |

| 質問順序 | 8 | 議席番号 | 5 | 質問者 | 村松 和幸 |
|------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | 答弁者 |
| 1 | 地域防災に対する取り組み 市はこれまでに消防団、自主防災隊を中心に地域防災に取り組んできたと考えるが、その中核的役割を担う消防団について質問する。 <p>(1) 平成26年度をピークに消防団員が減り続けていることをどう考えているか。</p> <p>(2) 団員を確保する取り組みとして具体的にどのような対応をしているか。</p> <p>(3) 年齢制限など、組織改革の必要性を感じるか。</p> | | | | 市長 |
| 2 | 教育問題について 袋井市は先駆けて幼小中一貫教育を始めたが、その中でも特徴的であるICT活用教育の今後の展望や、開始一年での問題点などについて質問する。 <p>(1) ICT活用教育でタブレットが1人1台貸与されたが、学校及び家庭での学習について問題点はあるか。</p> <p>(2) 幼小中一貫の学園構成の中での構成校と連携校の違いとは何か。 また、その問題である二つの小学校の進学先が二つに分かれていることをどう考えているか。</p> <p>(3) 中学校の部活動に部活動指導員を任用していく取り組みについて、進み具合はどうであるか。</p> | | | | 教育長 |
| 3 | 小山鷺巣線及び周辺事業について 生活環境において長年にわたり問題となっている事情を抱えている地域であり、当面の課題である通学路の安全確保と治水対策について質問する。 <p>(1) 小山鷺巣線は通学路交通安全プログラムに基づく対策が必要な箇所となっているが、現状から竣工までの安全確保について伺う。</p> <p>(2) 現在行われている太郎平新道国本線、久野城址南遊水池工事竣工後のさらなる治水対策についてどう考えるか。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 9 | 議席番号 | 18 | 質問者 | 山田 貴子 |
|-------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 3 | <p>下山梨地区の開発の可能性</p> <p>下山梨地区は現在、農業振興地域となっていますが、袋井市都市計画マスタープランでは、新たな都市活力の創出地となっていますので、お伺いします。</p> <p>(1) 森町袋井インター通り線については、整備されることにより東名高速道路と新東名高速道路の中間点に位置し、経済の発展は無論、産業、物流等に大きな期待がもたらされます。下山梨地区の開発の可能性をどのように考えているのかをお伺いします。</p> <p>(2) 現在、貸し出している農地が多く、今後も賃貸地が増加する傾向にある。農地の整備を希望しないと考えている人もいるが、下山梨地区の農業生産者の意向は調査していますか。市としてこの地域をどのように考えているのかを伺います。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 10 | 議席番号 | 8 | 質問者 | 鈴木 弘睦 | 答弁者 | |
|-------------------|---|------|---|-----|-------|-----|--|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | | 答弁者 | |
| 1 | 北部地域のまちづくり | | | | | 市長 | |
| | <p>(1) 森町袋井インター通り線の整備促進と沿道開発等の見解を伺う。</p> <p>(2) 共用開始予定の（仮称）新磐田スマートインターチェンジへのアクセスについての見解を伺う。</p> <p>(3) 北部地区唯一の高等学校である袋井商業高等学校の5年制化の推進への見解を伺う。</p> <p>(4) 磐田市、掛川市、森町と隣接している市町との広域連携をどのように考えているのか見解を伺う。</p> <p>(5) 周南中学校通学路として、市道太田村松線・市道下山梨下6号線の安全対策は万全か見解を伺う。</p> | | | | | | |
| 2 | 投票しやすい環境整備 | | | | | 市長 | |
| | <p>(1) 電子投票システムの技術的条件の改定が行われた。導入に向けての見解を伺う。</p> <p>(2) 投票率向上に向けた常時啓発への取り組みと、意識づけへの考えを伺う。</p> <p>(3) 投票率向上策として、不在者投票等さまざまな投票方法の周知を拡大する考えがあるか見解を伺う。</p> | | | | | | |

| 質問順序 | 1 1 | 議席番号 | 6 | 質問者 | 村井 勝彦 |
|----------------------------|---|------|---|-----|------------------------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 自治会組織の運営等に係る課題と支援 | <p>自治会は、自分たちの暮らすまちを明るく住みよいまちとするために、地域住民相互が協力し、コミュニティ、防災、防犯、交通安全、環境美化などの活動を行う自治組織であるが、これらの活動をより効果的に行うよう市と連携しまちづくりを進めなくてはならないが、現状において、自治会組織に係る課題をどのように捉えているか。また、自治会組織を活性化するためにどのような支援を行っているか。</p> <p>(1) 自治会に加入していない世帯への取り組みは。</p> <p>ア 自治会に加入しない要因をどのように捉えているか。</p> <p>イ 市内在住の外国人世帯の加入状況と加入促進に向けた取り組みは。</p> <p>ウ 自治会への加入促進に向けてどのような取り組みをしているか。</p> <p>(2) 自治会組織の運営に係る考え方は。</p> <p>ア 自治会長の位置付け（身分）はどのような取り扱いとなっているか。</p> <p>イ 自治会長への謝礼の基準及び自治会長の業務遂行中における事故等については、どのように対応しているか。</p> <p>ウ 自治会等運営交付金はどのような基準に基づき交付しているか。</p> <p>(3) 地域応援職員の取り組み状況はどうか。</p> <p>ア 職員の地域応援職員としての登録状況は。</p> <p>イ 地域応援職員の地域への参加状況と効果は。</p> | | | | 市長 |
| 2 防犯まちづくりの取り組み | <p>犯罪等のない安全、安心なまちづくりの推進するため、地域においては高齢者や子どもたちなどへの目配り、日常のあいさつなどの声掛け、防犯パトロールなどを行っているが、地域における防犯まちづくりに向けての取り組みに係る課題を把握し、地域の防犯組織や活動に対して支援を行い、さらなる安全、安心なまちづくりを進める必要がある。</p> <p>(1) 本市における犯罪の認知件数と青少年の補導状況は。</p> <p>(2) 青少年の防犯に対する意識の向上に向けてどのように取り組まれているか。</p> | | | | 市長 教育長 |

| | | | | | |
|-------------------|-------------------------------------|------|---|-----|--------------|
| 質問順序 | 1 1 | 議席番号 | 6 | 質問者 | 村井 勝彦 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 《一問一答》 | | | | | |
| 2 | (3) 地域防犯組織や活動などにおける課題をどのように認識しているか。 | | | | 市長 |
| | (4) 地域の防犯活動に対してどのような支援を行っているか。 | | | | |

| 質問順序 | 1 2 | 議席番号 | 1 3 | 質問者 | 立石 泰広 |
|-------------------|---|------|-----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 市職員が健康で働ける職場環境の整備 職員のワーク・ライフ・バランスの向上と心身の健康維持は、持てる能力を十分に発揮し、仕事の質を高め、市民サービスの向上につながる。 (1) ワーク・ライフ・バランスの向上 ア 昨年度、時間外勤務が45時間/月(延べ人数)、80時間/月(延べ人数)、360時間/年を超えた職員は何人か。 イ 時間外勤務を縮減するために、どのような措置を講じているか。 ウ 昨年度、職員の有給休暇の取得日数は1人平均何日か。 エ 有給休暇取得促進のために、どのような措置を講じているか。 (2) 心身の健康維持 ア 昨年度、メンタル不調による休暇者は9名、休暇日数は1人平均134日と大きな労働損失となっている。メンタル不調者を早期に発見して早期のケアに結びつけるために、どのような措置を講じているか。 イ パワー・ハラスメント防止のために、どのような措置を講じているか。 | | | | 市長 |
| 2 | 高齢者の介護予防と生活支援の推進 高齢者が、住み慣れた地域で元気で安心して生活できるよう、住民主体で行う介護予防と生活支援の活動を、より持続性ある活動に改善する。 (1) 介護予防、生活支援活動の改善 ア 昨年度の通いの場(介護予防体操)は65カ所(しぞ〜かでん伝体操週1回以上開催)と令和に入ってから足踏み状態であるが、今後どのような継続支援をしていくのか。 イ 令和7年度の通いの場の目標は93カ所、目標の設定基準は何か。目標までの28カ所をどのような施策で普及させるのか。 | | | | 市長 |

| 質問順序 | 1 2 | 議席番号 | 1 3 | 質問者 | 立石 泰広 | |
|-------------------|--|------|-----|-----|-------|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 《一括》 | 答弁者 |
| 2 | <p>ウ 昨年度、2カ所で住民主体の生活支援活動が立ち上った。1層の協議体に団体の意見を聞く機会を設けるなど、課題解決に努めているか。</p> <p>(2) 総合事業サービスBの周知 要支援1・2の方や総合事業対象者を対象に、住民主体で行う介護予防体操と生活支援サービスに対し、総合事業サービスBとして今年度より補助(助成)が行われる。対象団体に対し、制度をどのような計画で周知するのか。</p> | | | | 市長 | |

| 質問順序 | 13 | 議席番号 | 10 | 質問者 | 木下 正 |
|-------------------|---|------|----|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） | | | | | 答弁者 |
| 1 | 新市長の選挙公約について (1) 「活力みなぎる産業都市袋井（稼ぐ力）」について ア 袋井市内で買い物しやすい仕組み作りとは、どのようなシステム（形態）であるかを伺う。 イ 耕作放棄地対策推進（野菜工場の誘致）とは、具体的にどこを想定しているのかを伺う。 (2) 「教育・子育て先進都市袋井」について ア 障害のある子どもや経済支援の必要な家庭への援助の中には、お金だけではなく支援体制や支援制度も考慮しているのかを伺う。 イ 海外留学支援の対象者は誰を想定しているのか。 (3) 「文化とスポーツを楽しむまち袋井」について ア 子どもたちのための図書館・児童館の新設は現在の図書館や中央子育てセンター「カンガルーのぽっけ」などとのすみ分けはどのように考えているのかを伺う。 イ 音楽の盛んなまちにするためには、駅前をリニューアルして駅へのピアノの設置や、市民が定期的に演奏会ができるような設備を設置すべきではないか。 ウ 多文化共生事業の充実のため、市民と英語圏、ポルトガル語圏、ベトナム語（キン語）圏などの方々との多言語対応が必要であるが、今後フォーリナー同士の意思疎通も必要である。どのような対策を講じていくのかを伺う。 エ エコパを活かした市民スポーツの振興とまちづくりには、県との連携が重要なカギとなってくる。今までにない連携のための活動はどのように考えているのかを伺う。 | | | | 市長 |
| 2 | 駅南地区治水対策と土地利用計画について (1) この一年の治水対策のハード面の計画は、どのようなものであったかを伺う。 | | | | 市長 |

| 質問順序 | 13 | 議席番号 | 10 | 質問者 | 木下 正 |
|--------------------------|---|------|----|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》 | | | | | 答弁者 |
| 2 | <p>(2) 計画に基づき実行された事業は、未完成の物を含めどのようなものであったかを伺う。</p> <p>(3) 同時にソフト面の対策は、どのようなものであったかを伺う。</p> <p>(4) 今後3年から5年の間に進めていく予定の計画は、どのようなものかを伺う。</p> <p>(5) 一方で県と連携してハザードマップの作成することも急務であるが、進捗状況はどうかを伺う。</p> <p>(6) 新幹線南側の土地利用計画は、各種対策を同時並行的に進める必要があると考える。継続して庁内各部課が連携していくべきであると考えますが、市長の考えを伺う。</p> | | | | 市長 |

| 質問順序 | 14 | 議席番号 | 1 | 質問者 | 太田 裕介 | 答弁者 | |
|------------------------|---|------|---|-----|-------|-----|-----|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | | 答弁者 | |
| 1 | 宇刈自治会連合会地区のまちづくりと今後について (1) 宇刈いきいきセンターの活用による地域活性と管理人の確保に関して ア 地元農産物の販売を行うなど人が集まるような工夫をしていただきたいという提案が以前、総務委員会内にてあったが、その進捗状況を伺う。 イ 市の直接管理になったが、管理人業務は継続性などを重視して、選定や依頼を自治会主導で行っている。選定・依頼業務が徐々に地元の負担となってきたが、市としてどのような対策をとっていくのか伺う。 (2) 掛川市や森町に隣接する地域として長期的に見た道路整備に関して、東名高速道路（仮称）掛川西スマートインターチェンジが計画される中、市東部の接続路線として宇刈三沢線や北原川村松西線などの路線の需要、重要度は高まるが今後、市としてどのように整備をしていくのか伺う。 | | | | | 答弁者 | 市長 |
| 2 | 袋井市教育会館会議室の在り方に関して 多くの市民の活用を促すため、袋井市教育会館条例施行規則第7条における会議室使用料減免基準にある「文化、教育、福祉団体等」の定義を明示する必要があるが、その定義を問う。 | | | | | 答弁者 | 教育長 |